

仕 様 書

1 物件の名称・数量等

汎用超音波画像診断装置 数量：1 式

2 必要とする仕様の内容

- ・ 本件調達物品に係る性能、機能及び技術等（以下「性能等」という。）の要求要件（以下「技術的要件」という。）は下記のとおりとする。
- ・ 必須の要求要件は本院が必要とする最低限の要求要件を示しており、入札機器の性能等がこれを満たしていないとの判断がなされた場合には不合格となり、落札決定の対象から除外する。
- ・ 当仕様書に記載のない事項及び不明な点については、適宜病院と協議すること。

項 目	技術的要件
本体基本性能	<p>1. 超音波画像診断装置本体は以下の要件を満たすこと。</p> <p>1-1. 診断装置本体は送信部から受信部までデジタル制御処理が可能であること。</p> <p>1-2. 走査方式は、電子コンベックス走査、電子リニア走査、電子セクタ走査が可能であること。</p> <p>1-3. 4 本以上の探触子を同時に装着し、操作パネルで切り替えて使用が可能であること。</p> <p>1-4. 画像表示モニタは 22 インチ以上の有機 EL (Electro-Luminescence) / OLED (Organic Light Emitting Diode) / 高精細 HDU のディスプレイであること。</p> <p>1-5. 操作補助機能として 10.4 インチ以上のタッチパネルを有していること。</p> <p>1-6. モニタ・操作パネルの稼動域を広げ、左右だけでなく上下（高低）へのポジションチェンジに対応する事が可能であること。</p> <p>1-7. カラードプラ機能、パワードプラ機能、高分解能血流表示 (DFI 機能、SMI 機能、MVI 機能) が可能であること。</p> <p>1-8. カラードプラ画像と白黒画像を同時にリアルタイムでの並列表示が可能であること。</p> <p>1-9. 造影剤を使用し、腫瘍の同定、視認性を高めるコントラスト機能を有すること。</p> <p>1-10. 組織の硬さを組織弾性画像としてリアルタイムに表示する機能であるエラストグラフィ機能を有すること。</p> <p>1-11. 組織の硬さをせん断弾性波の伝播速度を用いて数値化する機能を有すること。</p> <p>1-13. 超音波減衰計測機能（脂肪肝計測機能計測）を有すること。</p> <p>1-14. ルーチン検査における描出部位，モード，実施計測を時系列にプロトコルとしてあらかじめ登録できる機能を有すること。</p> <p>1-15. 動画・静止画データの DICOM 転送機能を有すること。</p> <p>1-16. 浅部から深部まで表示画像全てにフォーカスを効かせる「eFocusing PLUS 機能」、「iBeam+機能」、「フルピクセルフォーカス技術」を有すること。またはそれと同程度の機能を有すること。</p> <p>1-17. プローブを体表に沿ってスキャンさせることで、画像をつなぎ合わせて表示する機能を有すること。</p>

	<p>1-18. エコー用ゼリーウォーマーは装置と一体化しており，装置の on/off に連動すること</p> <p>1-19. 外形寸法はW：550mm以上、D：880mm以上、H：1170～1760mm範囲内であること。</p> <p>1-20. 本体重量（周辺機器は含まず）は、約 110kg 以上であること。</p> <p>1-21. 超音波診断装置の探触子に磁気位置センサを装着し，あらかじめ取得しておいた CT，MR，および超音波像のボリュームデータから探触子の位置および傾きに応じた同一断面像を作成し、リアルタイムの超音波画像と同一断面のリファレンス画像を同時表示する機能を有すること。</p>
付属品その他	<p>2. コンベックスプローブは以下の要件を満たすこと。</p> <p>2-1. 周波数レンジは 4.0MHz 近辺であること。</p> <p>2-2. 視野角は約 70° 以上であること。</p> <p>2-3. フルフォーカスモードに対応していること。</p> <p>3. マイクロコンベックスプローブは以下の要件を満たすこと。</p> <p>3-1. 周波数レンジは 10.0MHz 近辺であること。</p> <p>3-2. 視野角は約 70° 以上であること。</p> <p>3-3. フルフォーカスモードに対応していること。</p> <p>4. リニアプローブ(1)は以下の要件を満たすこと。</p> <p>4-1. 周波数レンジは 7.5MHz 近辺であること。</p> <p>4-2. 視野幅は約 38mm 以上であること。</p> <p>4-3. フルフォーカスモードに対応していること。</p> <p>5. リニアプローブ（2）は以下の要件を満たすこと。</p> <p>5-1. 周波数レンジは約 12MHz 近辺であること。</p> <p>5-2. 視野幅は約 38mm 以上であること。</p> <p>5-3. フルフォーカスモードに対応していること。</p> <p>6. カラヘルモント社製超音波検査用ベッドを有すること。 詳細な仕様等は担当部局と相談し見積に含むこと。</p> <p>7. 無停電電源装置を有すること。 詳細な仕様等は担当部局と相談し見積に含むこと。</p> <p>8. バートリーダーは以下の要件を満たすこと。</p> <p>8-1. 超音波装置本体と接続し患者情報の表示が可能であること。</p>
システム接続	<p>9. 院内システムとの接続に関して以下の要件を満たすこと。</p> <p>9-1. 画像転送、画像データ呼出し取得、患者情報取得、計測データ転送（院内システムレポート）に接続対応すること。ただし、病院内の LAN 敷設工事は除外とする。</p>
設置工事等	<p>10-1. 装置設置に電源工事、給排水工事その他必要な費用がある場合は見積に含むこと。</p> <p>10-2. 装置はキャスターなどの装備で可動性があり、5kmの距離の設</p>

その他	<p>置場所の移動が可能であること。かつその際の移設費用 1 回分も含むこと。</p> <p>11. 超音波プリセット（検査対象や目的に応じて、超音波診断装置の周波数や表示設定などをあらかじめ設定しておく）をすること。</p>
-----	---

3 納品場所

茨城県笠間市鯉淵 6 5 2 8
茨城県立中央病院

4 調達の条件（以下に必要な一切の費用を見込むこと。）

- ・ 使用できるよう搬入、据付、接続、調整、動作確認を行ったうえで、取扱説明を行うこと。
- ・ 納入により生じた梱包材料等は持ち帰り処分すること。
- ・ 供給者は、技術支援及び教育、講習支援を十分に実施し得る体制を確立しておくこと。

5 納入期限

令和 8 年 3 月 3 1 日（火）
納入にあたっては、事前に連絡調整すること。